

3 師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙



令和4年1月
NO. 150

令和4年

第3師団始動

各種行事・訓練

第41代師団長 荒井陸将着任行事
第40代師団長 山根陸将離任行事
令和4年 第3師団始動
新着任部隊長紹介
駐屯地成人行事
師団音楽フェスタin橋本

第3師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人
師団戦士
我が部隊の新戦力
社会の一員として

2府4県近畿の旅

瀬戸内海国立公園～一目2万本の梅の名所～

職場の豆知識

温故知新

表紙写真：師団司令部年始行事（師団長による達磨の目入れ）



荒井陸将が第41代師団長に着任

要望事項「所命即応」「訓練着実」「地域連携」



着任式（千僧駐屯地体育館）



着任式（千僧駐屯地体育館）



各部隊長等による出迎え（第3師団司令部庁舎前）

令和3年12月22日（水）付で荒井 正芳（あらい まさよし）陸将が第41代師団長に着任し、23日（木）、千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）において着任行事を実施した。

荒井陸将は「61年の長い歴史と伝統を誇る第3師団での任務、近畿2府4県の防衛警備を担任する重責に身が引き締まる思いである。我が国を取り巻く安全保障環境は年々厳しさを増しており、陸上自衛隊への国民の期待は高まる一方である」と述べた上で、「所命即応」、「訓練着実」、「地域連携」の3点を要望した。

最後に「『任務必成』、『強い部隊の育成』、これを自らの肝に銘じ、諸官の先頭に立ち任務に邁進する」と着任の辞を締めくくった。



第41代師団長
陸 将

荒井 正芳

第41代師団長 荒井陸将 略歴

平成 2 年 3 月	幹部候補生学校	（前川原）
平成 3 年 3 月	第12偵察隊	（相馬原）
平成 6 年 3 月	防衛大学校	（横須賀）
平成 8 年 3 月	第1戦車群	（北恵庭）
平成10年 8 月	幹部学校付（指揮幕僚課程）	（目 黒）
平成12年 8 月	陸上自衛隊富士学校機甲科部	（富 士）
平成14年 3 月	陸上幕僚監部防衛部防衛課	（市ヶ谷）
平成17年 8 月	第10偵察隊長	（春日井）
平成18年 8 月	陸上幕僚監部防衛部防衛課	（市ヶ谷）
平成21年 8 月	幹部学校付（防研一般課程）	（目 黒）
平成22年 8 月	統合幕僚監部運用部運用第1課防衛警備班長	（市ヶ谷）
平成24年 8 月	第2戦車連隊長	（上富良野）
平成25年 12 月	統合幕僚監部防衛計画部防衛課付 （内閣官房国家安全保障局）	（東京都）
平成27年 8 月	西部方面総監部幕僚副長	（健 軍）
平成28年 7 月	陸上自衛隊研究本部総合研究部長	（朝 霞）
平成30年 3 月	陸上自衛隊教育訓練研究本部研究部長	（目 黒）
平成30年 8 月	自衛隊東京地方協力本部長	（市ヶ谷）
令和 元年 8 月	陸上幕僚監部防衛部長	（市ヶ谷）
令和 3 年 12 月	現職	（千 僧）

師団は、令和3年12月21日（火）、千僧駐屯地において、第40代師団長 山根 寿一（やまね としかず）陸将の離任行事を実施した。

山根陸将は、約1年4か月の勤務を振り返り「本職の要望事項を具現してくれたことに感謝する。更に真に戦える強い部隊を目指せ」と述べ苦楽を共にした各部隊長や司令部の隊員に見送られる中、新任地である陸上幕僚監部（市ヶ谷）へと第3師団司令部を後にした。



陸上幕僚副長（市ヶ谷）へ



更に「真に戦える強い部隊」を目指せ

令和4年

第3師団始動



師団司令部年始朝礼：師団長による年頭の辞（千僧駐屯地体育館）



師団司令部訓練始め（綱引き） 千僧駐屯地体育館

師団司令部は、令和4年1月11日（火）、千僧駐屯地（兵庫県伊丹市）において年始行事を実施した。

行事の冒頭、整列する司令部幹部を前に師団長は「近畿2府4県の地域から信頼されるべく、更に部隊及び隊員が信頼し合い、強い第3師団に成り得るよう精進・精励し、いこう」と述べた後、主要幹部による達磨の目入れを行い、今年の抱負を誓い新年への思いを新たにしました。その後、司令部幹部対抗の綱引きを実施して、更なる団結の強化を図った。

また、師団の隷下各部隊も同様に、それぞれ年始行事を行い、第3師団の令和4年が始動した。

第3後方支援連隊長

うえはら たかし
上原 孝志 1等陸佐

出身地 長野県

期 別 96B

教育訓練研究本部（目黒）から

要望事項

「職責を全うせよ」
「気概を持って」
「信頼される者になれ」



新着任部隊長紹介

隷下各部隊の年始行事

車両の安全祈願
第3後方支援連隊訓練始め（大縄跳び）
第36普通科連隊新年を祝して記念撮影
第3戦車大隊FH-70非実射訓練
第3特科隊



旧将校集会場前での成人式（福知山駐屯地）



連隊長からの記念品の贈呈（信太山駐屯地）



新成人による記念植樹（大久保駐屯地）



成人の抱負（伊丹駐屯地）

師団管内では、約30名の成人を迎え、師団隷下14個部隊が所在する各駐屯地において創意を凝らした成人行事を実施された。新成人は、社会人として、何よりも我が国の平和と独立を守り、国民の生命と財産を守る、自衛官としての決意を新たにし、先輩隊員等から祝福を受けた。伊丹駐屯地では、新成人代表挨拶所において、37（いちばんあき）士長が「喜びを噛み締めるとともに、自衛官としての自覚と責任の重大さに改めて身の引き締まる思いです。私たち、成人をい

祝 駐屯地成人行事



師団音楽フェスタ in 橋本



出演者全員による盛大なフィナーレ



歌って踊って！楽しく



陸軍分列行進曲



隊員によるトロンボーンソロ



統制のとれた信太菊水太鼓

師団は、令和3年12月26日（日）、橋本市産業文化会館アザレア（和歌山県橋本市）において師団音楽フェスタ in 橋本を開催した。本演奏会は、地域の方々の師団に対する理解を深め、信頼関係を築くことを目的とし、事前に公募して頂いた多くの方々が来場した。

演奏会は2部で構成され、第3音楽隊（隊長 今井1尉）及び信太菊水太鼓（代表 松浦3曹）による演奏を行った。第1部では、音楽隊による統制のとれた動きによる「陸軍分列行進曲」で幕を開け、国歌「君が代」、テンポの速い行進曲「サーカス・ビー」に続いて、信太菊水太鼓が「初陣」、「春馬」及び「武将」の3曲を披露し、迫力ある演奏で聴衆を圧倒した。第2部では、師団創立60周年記念企画として60年を振り返り、歌、踊りなどを交えながら懐メロから最新曲に至るメドレーにより、観て聴いて楽しい演奏を行った。

来場者からは、「とても良い演奏会でした。音楽演奏だけでなく、隊員さんが歌って踊る姿に楽しい気持ちになりました」「機会があれば、また演奏会に来たいです」等の温かい声をいただいた。

近畿の守り人

次世代に伝えたいこと

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北端を震源とする最大震度7の揺れに見舞われた阪神大震災が発生。地震発災を受け、第3師団から多くの隊員が被災地に駆け付け、人命救助、生活支援の任務を遂行した。あれから27年。当時の災害派遣活動に従事した隊員から話を聞いた。

第37普通科連隊第4中隊の中山 直紀(なかやま なおき) 1曹は、阪神大震災が発

生した当初「これは現実なのか、夢であって欲しい」と思いつつ、災害派遣部隊の一員として、現地へと向かった。

災害派遣現場は、倒壊した建物や亀裂の入った道路がいたる所にあり、被害の大きさを肌で感じ「一人でも多くの方を助けたい」と必死で人命救助の任務にあたった。

倒壊した家屋から一人のおばあさんを助け出した際、おばあさんの第一声が「自衛隊さんごめなさい」の一言。「何故、ごめんなさいなの」との問いかけに「汚れているのに抱きかかえてもらって申し訳ない」との返答があり、救助する側を氣遣ってくれたことが印象に残っている。

定年まで残り数年の中山1曹。災害派遣の過酷さや自衛官として体を鍛えることの大切さだけでなく、人に対する思いやりの大切さを後輩に伝えていきたいと言う。

中山1曹の取材を通じて、我々自衛官は、いつ起こるかかわからない事態に即応できるように「形にできない大切なもの」を継承していくことも重要であることを学んだ。

中山1曹の取材を通じて、我々自衛官は、いつ起こるかかわからない事態に即応できるように「形にできない大切なもの」を継承していくことも重要であることを学んだ。



中山1曹

師団戦士

「救命士課程を卒業して」



第7普通科連隊本部管理中隊
2等陸曹 森本 祥太

今回は、第7普通科連隊本部管理中隊に所属する森本 祥太(もりもと しょうた) 2曹へのインタビューです。森本2曹は、平成27年に入隊、その後、准看護師課程に合格し、救急救命士課程を経て、第7普通科連隊に配属となりました。部隊では普通科に配属された衛生科隊員として医療の技術だけではなく、戦闘に必要な知識や技能の練磨にも励んでいます。

出身地、陸曹候補生課程入校年度は。
鳥取県出身、平成31年4月入校(第135期)です。

救急救命士課程で印象に残ったことは。
病院実習です。患者さんと接したことは、とてもいい経験になりました。

特に苦労したことは。
国家試験と第一線救護衛生員認定試験の勉強の両立です。

特に学んだことは。
知識や技術等、日々の学びを継続することの大切さです。

救急救命士になって心境の変化は。
医療に関する様々なことに興味を持つようになりました。

今後の部隊での目標は。
TCCC(戦術的第一線救護)の更なる理解と普及です。

救急救命士を目指す後輩隊員に一言
人を助けたいという気持ちを大切に、努力してください。

人を助けたいという気持ちを大切に、努力してください。

我が部隊の新戦力

「初心を大切に」



第3特殊武器防護隊
1等陸士 谷口 淳太

今回は、第3特殊武器防護隊に所属する谷口 淳太(たにぐち じゅんた) 1士へのインタビューです。

出身地、入隊年度は。
大阪府出身、令和3年度入隊です。

入隊の動機は。
社会貢献したいと思いインターンシップに参加したのがきっかけです。

新隊員教育の区別・班は。
前期教育は110教育大隊の333中隊の1区隊5班、後期教育は第3特殊武器防護隊です。

新隊員教育での思い出は。
射撃は練習すればするほど当たるようになり、良い思い出です。

現職のやりがいは。
経験を積んで、周りの人達と同じく成長を感じ、やりがいを感じています。

現職で苦労していることは。
覚えることが多く、定期的に復習しないと忘れてしまいそうになることです。

尊敬(目指している)先輩は。
お世話になっている下田平士長です。

営内での生活はどうですか。
皆さん優しく接してくださるので、とても充実しています。

今後の目標を教えてください。
できることを増やして、部隊に貢献できるように頑張りたいです。

最後に一言
初心を忘れず、常に向上心をもって頑張ります。

社会の一員として

「誰かを守る仕事」



元第3特科隊第4中隊
木下 英行 さん

今回は、元第3特科隊第4中隊に所属していた木下 英行(きのした ひでゆき)さんへのインタビューです。現在、木下さんは、兵庫県赤穂市に所在する東京海上日動株式会社で勤務されています。

在隊間で印象に残ったことは
平成17年に参加した第6次イラク人道復興支援隊です。様々な外国の軍隊及び現地のイラクの方々とは触れ合うことができ、とても貴重な経験になりました。

現在のご職業は?
姫路損害サービス主任として、人身事故担当者として怪我をされた方の治療のサポート及び事務手続きを行っています。

現在の仕事と自衛隊の違いは?
弊社における損害サービスは、求められる資質及び識能、業務遂行要領が自衛隊と相通ずるものがあるため、自衛隊OBとして同じメンタリティで仕事ができるので問題なく環境に馴染むことができます。

自衛隊の良いところは?
隊員への教育がとても手厚く、懇切丁寧なところだと思います。

現役隊員に向け一言
自衛隊でしっかり勤務していれば、何処へ行っても、やっていける精神力が養われるので、自衛官としての自信と誇りを持って勤務にまい進してください。共に頑張ります。

共に頑張ります。



兵庫県

2府4県

近畿の

このコーナーでは
知っているようで
あまり知らない
近畿2府4県の
観光スポットを
紹介します。

旅

「瀬戸内海国立公園」

「一目2万本の梅の名所」

今回は、兵庫県たつの市の瀬戸内海国立公園内にある綾部山梅林を紹介します。綾部山梅林は、約24ヘクタール（東京ドーム5個分）の広大な地域に約8000本の梅の木が植えられており、例年2月中旬から早咲きの紅梅、続いて2月下旬からは白梅が咲き始めます。彩りを変えながら公園一面に咲き誇る鮮やかな梅の花を3月中旬頃まで楽しむことができます。

また、海に見える梅林として、その景観は西日本一と言われている、眼下には国立公園新舞子浜、瀬戸内の家島群島、小豆島、淡路島が広がり、遠く四国までを一望することができます。

なお、お出掛けの際には、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、油断せずに感染防止対策を徹底して訪れることをおすすめします。

1 海に見える梅林

2 紅梅と白梅のコントラスト

○観梅時期 2月11日（金）～3月21日（月）
○入園時間 午前9時～17時（最終入園16時30分）
○入園料 大人500円 小人400円
（梅ジュース又は甘酒付き）



職場の マメ知識

「温故知新」

あけましておめでとうございます。新年の挨拶が遅くなりましたが、今年も「3師団だより」、そして「職場のマメ知識」を、どうぞよろしくお願いたします。

さて、新年を迎えて気持ちも新たに頑張ろうと、仕事道具等を新調した方も多いのではないかと思います。私も10数年ぶりに国語辞典を新調してみました。新語や俗語が新規に多数収録されており、令和の時代に生きているのだと改めて実感しました。中には「こんなものまで」と、思わず二度見してしまうような言葉もあり、個人的には「ぴえん」の収録にかなりの衝撃を受けました。この「ぴえん」という言葉は、少し悲しい出来事の報告等において文面に添える形で活用され、SNS等でよく見かける表現です。手持ちの辞書では「小声での泣きまねを：」という解説が淡々と綴られており、頭が時代に追いついていないせいでしょうか、言葉から受ける少し悲しく愛らしいイメージが解説文とのギャップで、非常にシニカルに映りました。

その他にも、相手に同調する「それな」であったり、某大盛りラーメン店で食材の増量をお願いする「ましまし」等、かなり最近になってから使用されている言葉が見られました。

もちろん、日本語として普遍的な言葉も収録されています。また「ナウい（今風というような意味）」といった、昭和を感じる言葉もあり、古今のあらゆる言葉が網羅されることで「今」がしっかりと写し出されているのだと感じました。

新しいことには目が移りがちですが、今では使用されないような言葉が流行語の礎になっている場合も多く、無下にはできません。平素の訓練や装備品などでも同じ様なことが言えるかもしれませんね。「温故知新」といわれるように、過去を調べれば意外な発見があるかもしれません。

イベント告知

JGSDF The 3rd Division

陸上自衛隊 第3師団

スプリングフェス

Spring fes

in ASAGO

あさご

第52回定期演奏会



Click!!

令和4年3月13日（日）

14:00開演（13:00開場）

和田山ジュピターホール

（兵庫県朝来市和田山町玉置877-1）

陸上自衛隊第3師団

検索

www.mod.go.jp/gsdf/mae/3d/



令和4年2月26日（土）

東りいたみホール

14:00開演（13:00開場）